



日本刀の最高傑作「童子切安綱」を生んだ伯耆国

伯耆国「大山開山1300年祭」

伯耆国「大山開山1300年祭」のテーマのひとつでもある「日本刀」。平成30年には、刀工「安綱」のふるさと“伯耆国”を中心に鳥取県内で数々の刀剣展を開催し、日本刀の魅力や大山圏域の歴史・文化を発信します。

平成30年度人文部門常設展示コレクション展

「刀剣爛漫 ～県博の赤羽刀と新収蔵刀～」

2018年 4/14[土] ▶ 5/27[日] **終了しました**

会場 / 鳥取県立博物館(鳥取市東町2丁目124番地 TEL 0857-26-8041)
主催 / 鳥取県立博物館

伯耆国「大山開山1300年祭」特別企画
平成30年度米子市美術館特別共催展

「大山山麓の至宝」～「大山」ゆかりの刀を中心に～

2018年 7/29[日] ▶ 8/26[日]

主な展示作品(刀剣関係)

【国重文】太刀 銘 安綱 / 国(文化庁保管)

【国重美】太刀 銘 安綱 / 東京国立博物館蔵

太刀(古伯耆) / 春日大社蔵

【国重文】短刀 銘 備州長船住兼光 / 大神山神社蔵・東京国立博物館寄託

会場 / 米子市美術館(米子市中町12番地 TEL 0859-34-2424)

主催 / 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会・米子市
米子市教育委員会・(一財)米子市文化財団 米子市美術館



「鳥取県の郷土刀展」

2018年 8/4[土] ▶ 26[日]

会場 / 倉吉博物館(倉吉市仲ノ町3445-8 TEL 0858-22-4409)

主催 / 鳥取県の郷土刀展実行委員会

(特別展)大山開山1300年祭

「名刀展 ～森井父子三人の仕事～」

～研師 徳訓、鐵太郎 / 鞆師 敦央～

2018年 11/2[金] ▶ 12/2[日]

会場 / 日南町美術館(日野郡日南町霞785 TEL 0859-77-1113)

主催 / 日南町

伯耆国と“日本刀”

中国山地の“良質な鋼”、大山山麓の“豊富な水、木炭”

鍛刀地としての絶好な条件

「伯耆安綱」といった名工と呼ばれる刀鍛冶集団の形成

伯耆国「大山開山1300年祭」「大山」の恵みを感じるプロジェクトでは
「日本刀」「たたら」をテーマに大山の歴史・文化を発信

「伯耆安綱」と国宝「童子切安綱」

日本刀最高傑作と言われる国宝「太刀 銘 安綱」(名物 童子切安綱(どうじぎりやすつな))は、平安時代を代表する「伯耆安綱(やすつな)」という伯耆国の刀工により製作された。

「伯耆安綱」は、現在の日本刀の特徴でもある「反り」のある日本刀では、日本最古級の名匠と知られており、個人名が確認されている中では我が国最古級の刀工と言われている。

童子切は天下五剣の一つの名刀で、源頼光が丹波国大江山に住み着いた鬼・酒吞童子(しゅてんどうじ)をこの太刀で退治したという伝承から「童子切」の名がついたと言われている。

春日大社の「古伯耆物」発見

春日大社の宝庫で見つかった太刀が伯耆国の刀工によって平安時代後期に製作された最古級の日本刀と判明。

持ち手付近の反り、刃文等の形状から平安時代末期に伯耆国で製作された「古伯耆物」と判断。

また、古伯耆物であることは識者の一致するところであり、作者の銘はないものの、刀身の古さから、「安綱」の作の可能性があるとされている。

「伯耆安綱」ゆかりの地

安綱は伯耆国大原出身と言われているが、現在の伯耆町大原、日南町大原、倉吉市大原、米子市日下などの諸説がある。

